令和8年度（2026年度）豊中市立第十四中学校 グランドデザイン

校 訓

厳しく学び
高く思い
美しく生きよう

学校教育目標

自 律
人 権
創 造

めざす子ども像

・自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒
・支えあい、高めあい、豊かな心で人とつながる生徒
・夢や目標をもって、ともに生きる社会を創り出す生徒

研究目標

生徒が主体となり、協働的に学びを深めるなかで、
考える楽しさがあふれた授業を創造する

重 点 目 標

学校経営の重点	学習指導の重点	生徒指導の重点	健康管理指導の重点
①生徒との対話と信頼関係を基盤にすえ、個に応じたきめ細やかな指導を行う学校づくり ②生徒が主体となる協働的な学びに向けた授業改善を進め、生きる力を育むための指導力向上に努める学校づくり ③人権教育の充実を図り、あらゆる差別を許さない実践力と豊かな心を育む学校づくり ④学校環境の整備、改修を進め、清掃美化活動を柱に持続可能な教育環境を創造する学校づくり ⑤保護者、地域、校区小学校、こども園等との連携を深め、十四中校区全体で子どもを育む学校づくり ⑥誰もが「明日がもっと楽しみ」と思える、誰一人取り残さないウェルビーングな学校づくり	**<学習に関して>** ①考える力 ・思考や考えが見える授業 ・興味をもたせるしかけ（問い）がある授業 ・粘り強さを生む見通しがある授業 ②つながる力 ・間違っても受け止められる集団作りを進める授業 ・対話したくなるしかけ（問い）のある授業 ・子どもがお互いに認め合う機会がある授業 ③創り出す力 ・課題や疑問を自ら解決しようとする授業 ・学んだことを活かして行動する機会がある授業 ・子どもが自分の学びを選択する機会がある授業 **<評価に関して>** ・指導と評価の一体化 ・生徒の学びを様々な面からみとり、公正な評価を行う	①積極的生徒支援（発達支持的生徒指導）の強化 生徒一人ひとりの自己肯定感、自己有用感を育み、生徒どうしのつながりを深める ②不登校生や教室に入りづらい生徒等への個に応じた指導の充実に向けた機能的な体制づくり及び学校いじめ防止基本方針を踏まえた組織的な対応の強化 ③自分たちの学校を自分たちで創ることをめざした生徒会活動の強化 →生徒目標「自律・個性・主体性を大切にする十四中生」を軸に、自分たちで学校をよりよくしていくことができるように生徒の主体的な活動を支えていく (校則改変などを含めて)	①感染症予防対策や規則正しい生活習慣及び食生活を実践し、健康について自ら考え、正しく判断する力を養う ②健康診断・健康相談等から疾病異常の早期発見及び適切な事後措置を図り、健康の保持増進や事故防止に努める ③生命の大切さやジェンダー教育、飲酒喫煙薬物乱用防止教育等、3年間を通して発達段階に応じた健康教育の実施内容の充実を図る

人権教育基本方針	生徒も教職員も人権について深く学び、あらゆる差別を許さない人権教育の実践を進めよう。